

第8期ぎふ政治塾 第1回講座レポート

塾生番号 24番 平野祐也

日時：平成30年9月29日（土）

場所：グランヴェール岐山

第2部：阿部竹松先生「立候補者に求められるスピーチ技法」を聞いて

スピーチと言っても千差万別で、場所や相手によってスピーチ方法や内容を変えることは勿論のこと、スピーチを行う人の立ち振る舞いも変える必要が有るという点を改めて認識させられた。

「人は耳で聞かず、目で聞く」といった言葉は普段から自分でも感じている部分であったが、具体的に事例と共に説明を頂くと、これまで自分がスピーチの内容は練り上げて作るものの、見せ方については注意を払えていなかった部分が浮き彫りにされた。

スピーチの内容についても、立会演説会や街頭演説によって話すスピードを変えることで聴衆への響き方が異なる点や、スピーチの中に「山・川・谷」を盛り込むことでより内容を引き立てさせられるといった技術論も非常に勉強になった。

聴衆を引き込むスピーチを行うためには、「共通する話題を挙げる」ことや「仲間意識」を育むこと、自分よがりのスピーチにならないように「聴衆を巻き込む」

文言を入れるといった点は、すぐにでも活用出来る内容であると感じた。

これまで自分が話したい内容を如何に分かりやすく伝えられるかを考えて作っていたスピーチを、これからは聞く人にどの様に見えるかといった「第三者の視点」をしっかりと持ちながらスピーチが出来る様に意識をしていきたいと思う。

以 上